

1 学期の終わりにあたり

7月31日、今年度も4カ月が過ぎました。コロナ禍の中でスタートした1学期でしたが、無事に終業式を迎えることができました。2カ月近い臨時休業、運動部の各種大会、文化部のコンクール・発表会、文化祭等の学校行事など、例年行われていたことが中止や延期となり、生徒諸君にとっては残念で、我慢の連続だったと思います。しかし、この経験は、今後の人生で必ずプラスとなると信じています。

終業式で、生徒諸君に以下のような話をしました。

○与えられた環境で最善を尽くす

コロナ禍により、通常の活動ができず、多くの制約を受けているが、そうした環境を憂いていてはもはじまらない。与えられた環境で最善を尽くすのみ。

○当たり前な日常に感謝

コロナ禍で、学校へ行けない、日常の当たり前がどれだけありがたかったか気づかされた。日々の生活の中で、些細なことにも感謝の念を持って生活したいものだ。

○決して人を傷つけてはいけない

感染された方々への心ない言動が報道されている。誰もが感染したくて感染したわけではない。感染された方々の心の痛みを自分事として考えられる人でありたい。

○苦しいこと、我慢の後には、より大きな喜びがある

コロナ禍でつらい、苦しい、悔しい思いをし、困難や苦難を乗り越え、耐え抜き、我慢の後には、小さな喜びが、より大きな喜びと感じられる。

1学期、誰も経験したことのない大変な高校生活をしてきた。みんな本当によく頑張った。今日ここにみんなが元気でいてくれることを本当にうれしく思う。短い夏休みだが、与えられた環境で最善を尽くし、リフレッシュして、8月17日元気な笑顔で登校してください。



現在、新型コロナウイルスの脅威がさらに拡大しています。一人ひとりが可能な限りの感染対策をし、慎重な行動をしていきましょう。

明るく、笑顔で元気よく！

不安や心配事があったら、いつでも学校に相談してください。

↑ 演劇部3年生の引退公演の様子です。泣けました。